

# 「すべての支配者、与え主の神」

マタイ 6 : 25

堀田修一 23・5・21

本日は、教会の大切な「決算総会」である。この日に、もう一度、神がすべての支配者、与え主であることを深く覚えたい。満たされている時、神に感謝！そうでない時、神に祈る！「何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと自分のからだのことで心配するのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか」：25。心配から心の目を離し、神を見上げ祈り求めましょう！

I 「心配する」の原語は、私たちの心を「分け、分離させ、私たちの心をそらせるものをさす」。つまり、心配事、問題にだけ、心の目が向いて、心が分離させられ、すべてを支配される神を心の目で見なくなる、神を見失ってしまう。神を信頼することから心がそらされてしまう。心配するなどは、なすべき仕事や準備、備えをするなどという意味ではない。心配や思い煩いに心を支配されて、心が心配でエネルギーを使い果たし、なすべき分の力がなくなることが問題である。心配事をふくらませる独り相撲で、くたくたになる。主を信じる人は、心配事や困難があっても、神を見上げ、神に頼って力をいただいて、一日一日、なすべきことをこつこつとさせていただくのである。神はすべてをご計画し、支配し、最善に導いて下さるのです。「神を愛する人たち、すなわち神のご計画に従って召された（神に救われた）人たちのためには、すべてのこと（試練、苦しみ等も）がともに働いて益（神による最善、主の姿への成長、神の計画の前進）となる」（ローマ8：28）。

II 本日のみことばには、大切な比較がある。

1. 「いのち」と「食べ物」との比較、「からだ」と「着る物」との比較が述べられていることに目を留めたい。「食べ物」は、お金で買えるが「いのち」は、お金で買えないし、人間が生み出すことも決してできない。「着る物」は、お金で買えるが、「からだ」は、人間がゼロから生み出すことは出来ない。主は、このみことばで、次のことに心から気づいて欲しいと願っておられる。「心配し思い煩う前に、次のことを覚えなさい。あなたのいのちは、食物よりも大切なものです。また、からだ自体のほうが、着物よりも重要です。神は、その大切な「いのち」「からだ」をあなたに無償で与えて下さったのだから、それに必要な食べ物、着物を下さらないことがありますでしょうか」。私たちは、自分の大切な「いのち」をどこから得たのだろうか。もちろんその答えは「神からの賜物、全能ですべての造り主である神が与えて下さったもの」。私たち人間は、いのちを創造できません。人間が自分で、自分の存在を造り出す事は不可能です。自分でこの世に生まれて来ようと決めて存在している人は一人もいないのです。私たちが今の瞬間、生かされているということ自体、全面的に神がそう望まれ、そう計画され決定されたからです。私たちの「いのち」

そのものが神の賜物です。主が用いておられる論証は次の通りです＝「もし神が、最も大切ないのちの賜物を与えて下さったのならば、そのいのちの維持、必要に、みこころを向けて下さらないことがありますでしょうか。神はご自身の方法で人のいのちを神の時まで維持して下さい。私たちは、思い煩う必要はない。もちろん私たちは地を耕し、種を蒔き、刈り取り、納屋に納めるといふ人の分がある。神は私たちが体調が悪いときには休ませ、体力気力があるときには、神は私達に力を与え、なすべき仕事、使命を与えて下さる。神が私たちに「いのち」「からだ」の賜物を与えて下さったので、神はまた、この「いのち」「からだ」の維持のためにも配慮して下さい。医療、福祉等の神の一般恩寵も用いられる。神のなさる方法はワンパターンではない。色々な人々に、色々な方法で、いのち、からだを守り、必要を満たして下さいなのです。

2. 神ではなく、私たちの側の問題点。それは、すべての支配者、与え主への心からの感謝が足りないことである。私たちは、このいのち、からだを与えられている恵みと食べ物、着物、住まいが神に与えられている恵みを、絶えず、神に感謝しているでしょうか。主の祈りで祈る「日ごとの糧を今日も与えてください」が、日々答えられている。私たちは、単に偶然の進化の課程によって存在するものではない。神は、私たちひとりひとりのことを心にかけて下さっています。もし神が望まなかったら、私たちはだれひとりこの世に生まれてこなかったのです。意味なくして生まれ、意味なくして存在している人はいません。人の評価に左右されず、神の目には高価で尊い存在です。この重要原則を堅く保持し、把握して人生を歩みましょう。いのち、食物、生存の賜物に対する感謝を、また神が与えて下さったこの体の驚愕すべき不思議さ、精密さに対する感謝を神に献げない日は、一日たりとも私たちの生涯にあってはなりません。

3. 神の御支配。神のみこころの中には、私たちひとり一人の生涯に対するご計画があります。この世における私たちの生涯を何か偶然なもの、決して考えてはなりません。神は私たちの生涯に計画と目的を持っておられます。無意味なことはない。「主が人の子らを、意味もなく、苦しめ悩ませることはない」哀歌3：33。神のご計画は、神の時が満ちて実現します。※証し。ですから、自分の命やその維持、扶養について思い煩わないうで、神に信頼して祈り求めましょう。神は具体的な助けを与えられる。海上で嵐に遭うとき、飛行機に乗っているとき、状況が悪化しても神はすべて支配しておられます。神は、私たちに命を与えられて、後は自分でやりなさいと放り出される無責任なお方ではありません。主はひとたび私たちの生涯を出発させられたなら、これを守り続けて下さいます。最初に万事を定めた神は、今もそれを実現し続けておられる。人類に対する神の目的、個人個人への神のご計画は、必ず常に確実に実現します。「時が満ちて計画が実行に移され」エペソ1：10

### Ⅲ 罪の赦し、永遠の命、命と体と食べ物、着る物という神の恵みから生まれるもの

1. 神への感謝、賛美、礼拝。主の祈り「御名が崇められますように」マタイ6：9

2. 神への感謝のささげ物。月定献金、10分の一献金「十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ（新約的な適用：主の教会の必要のために感謝しつつ献げなさい）。こうしてわたしを試してみよ。…わたしがあなたがたのために天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうか」マラキ3：10。生ける神の励まし！

3. 献げた後、神に栄光を帰す。「このように自ら進んで献げる力を持っているとしても、私は何者なのでしょう。…すべてはあなたから出たものであり、私たちは御手から出たものをあなたに献げたにすぎません」Ⅰ歴代29：14。

祈り：すべての支配者、与え主に感謝！